

報道関係者各位  
プレスリリース

CODE BLUE

2019年09月11日  
CODE BLUE実行委員会

## 東京で開催の日本最大級のセキュリティ国際会議CODE BLUE 世界15カ国から来日する全講演者を発表

CODE BLUE実行委員会は、日本発のサイバーセキュリティ国際会議CODE BLUE(2019年10月29日(火)~30日(水)の2日間開催、会場：東京・渋谷)の全講演者を発表しました。採択された講演には、世界15カ国から来日する講演者たちの、現実のサイバー犯罪のケーススタディや、ブロックチェーンやテクニカルな内容を含む最先端の研究結果が含まれます。



keynote 1

### 【全講演リスト】

#### ■基調講演

基調講演：核兵器とハッキング

Andrew Futter(アンドリュー・ファター)英国レスター大学/オスロ国際平和研究所ーイギ

リス

■基調講演：TBA

Liis Vihul(リース・ヴィフィル)Cyber Law International/NATOアンバサダー —エストニア

■メイントラック：ジェネラル

・なぜクリックするか：攻撃者は説得の原則を利用し実行を成功させる

Yoshi Lnu(ヨシ・ルヌ)—米国

・IoTの脅威、そしてIoTに対する脅威に対抗する家電メーカーアプローチ

林 彦博&大澤 祐樹—日本

・スパイウェア、ランサムウェア、ワーム。次のSAP悲劇を防ぐ方法

Jordan Santarsieri(ジョーダン・サントルシエリ)—アルゼンチン

・日本のサイバー脅威の現状—影の脅威を明らかに

Chi En Shen&Oleg Bondarenko(チーエン・シェン、オレグ・ボンダレンコ)—台湾/ウクライナ

■メイントラック：テクニカル

・APIに起因するSSRF：Apple PayがWeb全体にいかにか脆弱性をばらまいたか

Joshua Maddux(ジョシュア・マダックス)—米国

・Chromebookのカーネル特権を得るためのDRMサブシステム攻撃

Di Shen(ディ・シェン)—中国

・NSAのように企業イントラネットへ侵入：主要SSL VPNでの事前認証RCE

Orange Tsai&Meh Chang(オレンジ・ツァイ、メ・チャン)—台湾

・VBScriptからChakraCoreへ：Windowsシステムのスクリプトエンジンを使ったアドベンチャー

Yuki Chen(ユキ・チェン)—中国

■メイントラック：U25 25歳以下

- ・ アンチウイルスをオラクルとしたWindows Defenderに対する新しい攻撃手法

Ryo Ichikawa(市川 遼)ー日本

- ・ ハイパーバイザを用いたセキュリティ機能の作り方

Yoshifumi Shu(朱義文)ー日本

- ・ わたしはあなたが最後に何をしたかを知っている：最新のIoT Hubへの侵入手法

Jisub Kim&Hongryeol Lim(ジスブ・キム、ホンリョル・リム)ー韓国

#### ■ メイントラック：サイバー犯罪

- ・ アジア地域における最新のサプライチェーン攻撃概要

Boris Larin&Alexander Listen(ボリス・ラリン、アレキサンダー・リスキン)ーロシア

- ・ Yaraルール活用によるテレグラムアカウント悪用の探索

Asaf Aprozper(アサフ・アプロズパー)ーイスラエル

- ・ 抵抗は無駄ー防御できないサプライチェーン攻撃

Sung-Ting Tsai&Linda Kuo(スンティン・ツァイ、リンダ・クオ)ー台湾

- ・ 暗号資産交換所の担当者に対する最近のAPT攻撃

Heungsoo Kang(フンス・カン)ー韓国

- ・ バンキングトロジヤンのすべて

Austin McBride&Artsiom Holub(オースティン・マクブライド、アーティオム・ホルブ)ー  
米国

#### ■ メイントラック：金融／ブロックチェーン

- ・ サイバー保険のリスクマネジメントプログラムへの統合

Jake Kouns(ジェイク・クーンズ)ー米国

- ・ Crypto Cobra：暗号資産交換所を狙う、国家の支援を受けた実行者

Dani Goland&Ido Naor(ダニ・ゴーランド、イド・ナール)ーイスラエル

- ・ CoinbaseとFirefoxの0-day

Philip Martin(フィリップ・マーティン)ー米国

- ・ハードウェアウォレットセキュリティ

Sergei Volokitin(セルゲイ・ヴォロキチン)ーオランダ

#### ■メイントラック：法律&政策

- ・GDPRおよびAPPIの国際企業への適用性とITセキュリティへの影響

Matthias Lachenmann(マティアス・ラヘンマン)ードイツ

- ・Advanced Persistent Threats(APT)からAdvanced Persistent Manipulators(APM)へ：進化するサイバー防衛の戦場

Mei Nelson(メイ・ネルソン)ー米国

- ・ソフトウェアサプライチェーンの透明性：SBOMの実現

Allan Friedman(アラン・フリードマン)ー米国

本年はメイントラックの他に、OpenTalksとBlueBoxを設けました。BlueBoxはオープンソースツールなどを紹介するコーナーです。OpenTalksの講演リストは後日発表します。

#### ■BlueBox

- ・Cuckooを活用したMalConfScan：マルウェアの設定自動抽出システム  
谷 知亮&朝長 秀誠ー日本

- ・CIRCO：ラズパイによるCiscoハニーポットの自動運用  
Emilio Coutoー日本

- ・MalCfgParser：ライトウェイトなマルウェアの設定解析ツール  
Ycy Yu&Duckll Liao&Charles Liー台湾

- ・FileInsight-plugins: マルウェア解析用デコードツールボックス  
萬谷 暢崇ー日本

- ・シームレスな脅威インテリジェンスプラットフォーム(S-TIP)  
Koji Yamada&Toshitaka Satomiー日本

- ・リサーチャー向けOPSEC  
Krassimir Tzvetanovー米国

- ・ DeepExploit : 強化学習を使用した完全自動侵入テストツール

高江洲 勲ー日本

- ・ tknk\_scanner v2 : コミュニティベース統合マルウェア識別システム

中島 将太&野村 敬太ー日本

- ・ Shattering the dark : ダークウェブの脆弱性を暴く

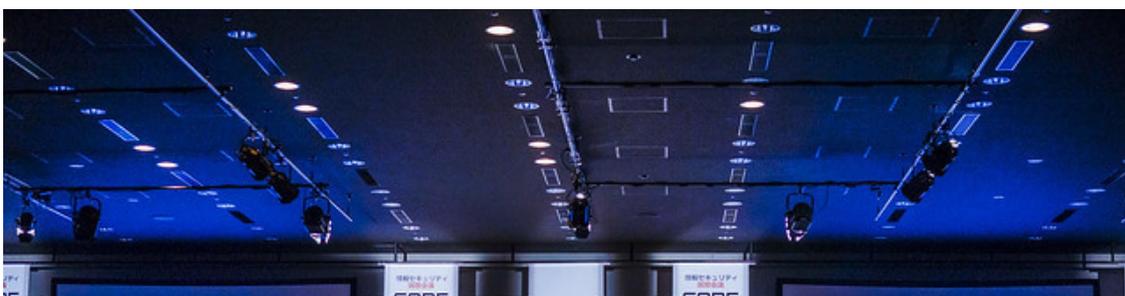
吉村 孝広ー日本

- ・ USB armory リローデット

Andrea Barisaniーイタリア



keynote 2





conference 2

### 【開催概要】

- 日時 : 2019年10月29日(火)~10月30日(水)
- 会場 : ベルサール渋谷ガーデン  
東京都渋谷区南平台町16-17 住友不動産渋谷ガーデンタワー1F/B1  
[https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shibuya/bs\\_shibuyagarden/](https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shibuya/bs_shibuyagarden/)
- 主催 : CODE BLUE実行委員会
- 運営 : 株式会社BLUE
- 参加費 : 早期割引 49,800円 | 通常 83,000円  
最終 118,000円 | 当日 132,000円  
ビジターチケット(展示エリアのみ)5,000円(税込)
- 事前参加登録 : Peatixからチケットを購入  
<https://cb2019.peatix.com/>
- 定員 : 1,300名
- その他 : 同時通訳付き(メイントラック)
- SNS : [Twitter] @codeblue\_jp  
[Facebook] <https://facebook.com/codeblue.jp>
- 公式サイト : <https://codeblue.jp/>

### ■スポンサーシップ(ご協賛)の募集

CODE BLUEでは、出展ブースをはじめ、協賛企業を中心とした特別トラック(オープントークス)を併設しております。パネルディスカッション等、自由なテーマが設定できます。詳細はCODE BLUE事務局 [info@codeblue.jp](mailto:info@codeblue.jp) までお問い合わせください。

### 【現在までの協賛企業リスト(順不同)】

パナソニック株式会社／株式会社日立システムズ／PwCコンサルティング合同会社／日本電気株式会社／株式会社インターネットイニシアティブ／株式会社 CyCraft Japan／Recorded Future／ベシス・テクノロジー株式会社／LINE株式会社／フューチャー株式会社／株式会社ラック／株式会社パロンゴ／CNSECURITY／三井住友海上火災保険株式会社／NTTデータ先端技術株式会社／富士通株式会社／NTTコミュニケーションズ株式会社／トヨタ自動車株式会社／株式会社Flatt Security／株式会社イエラエセキュリティ／日本製鉄株式会社／楽天株式会社／株式会社メドレー／株式会社FFRI／株式会社KPMG FAS／株式会社カカコム／ココン株式会社／グリー株式会社／株式会社ディー・エヌ・エー／トレンドマイクロ株式会社

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社BLUE

CODE BLUE事務局

担当 : 篠田、須貝

Tel : 03-4500-1754

E-Mail : [press@codeblue.jp](mailto:press@codeblue.jp)

## プレスリリース画像



keynote 1



conference 1



keynote 2



party



conference 2